

# 野球大会出場チームの善意金とプロ選手サインボールなど

人に夢を与えることを基本理念に活動しているJ-サンタクラブ(本部・東京、荒井芳之代表)は20日、主催した野球大会の出場チームから募った2万5000円を大崎タイムス社福祉部に寄託した。

J-サンタクラブ甲とサイン色紙も届け子園大会と題した野球大会は、震災復興事業の一環として実施。全園から187チームが出場して6月に開幕し、今月3日、阪神甲子園球場で準決勝、決勝を行った。

寄付金は出場チームが出し合ったもの。この日は、同クラブ会員で本社福祉部を紹介した鈴廣自動車ガラス(大崎市古川塚目)の鈴木廣志代表取締役と共に荒井代表が本社を訪れ、チームの善意金を寄託した。

このほか、巨人V9戦士で、野球評論家、日本野球評議会協力顧問を務める黒江透さんから贈られたプロ野球選手のサインボール

善意ありがとう  
=大崎タイムス社福祉部=



## J-サンタクラブ(東京)寄託

は24個、サイン色紙は33枚。被災地の方々に少しでも役立てばありがたい、という黒江さんの手紙も添えてある。

荒井代表は「宮城県の内陸部も大きな被害を受けたことは知っている。そうした被災地の少年野球の子どもたちや地域福祉に役立ててもらえれば」と話していた。

福祉寄金とともにサインボール、サイン色紙を寄託した荒井代表(左)と鈴木代表取締役